

小・中学生フォーラム
in 牛込仲之小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

１０月２９日（火）、牛込仲之小学校（市谷仲之町４－３３、校長：早藤基代孝）の６年１組３１名、２組３０名が、「未来の子供たちに残したい町づくり～多文化共生社会の実現に向けて～ 出会い ふれ合い 支え合い みんなにやさしい仲之小」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは外国から来た友達へ取材を行い、多文化共生のための課題を「言葉が分からず学習についていけない」「会話ができず友達ができづらい」「家族が学校からの連絡を理解しにくい」の三つにまとめました。それぞれの課題についてプロジェクトチームを立ち上げ、アイデアを出し合い解決策を考えて発表しました。そして、実際に取り組んでいることとして、4か国語で作成したフレーズカードの掲示や、外国から来た友達との交流を深めるため集団遊びの時間を計画的に設定していること等の紹介がありました。

児童たちの発表後、区長からは新宿区の取組や、今後やってみたいと思うことについて話がありました。また、外国から来た友達と積極的に交流の機会を作っているという発表に対して、「相手を思いやる親切な行動をしていることは素晴らしい。」と感想を伝えました。自分たちの身近なところから多文化共生社会の実現に向けて行動できるきっかけとなる、有意義なフォーラムとなりました。

